

4. カセット付属装置取り付け後の確認事項

遮断器の各状態におけるカセット付属装置の接点出力状態を付属銘板により確認してください。

1) 遮断器のONまたはOFF状態とカセット付属装置の接点出力状態

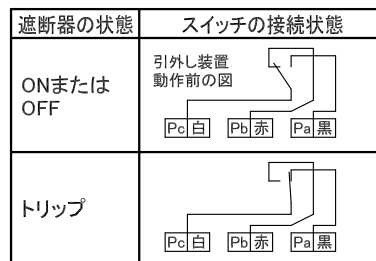
ハンドルをON、OFFして接点出力状態を確認してください。

2) 遮断器のトリップ状態とカセット付属装置の接点出力状態

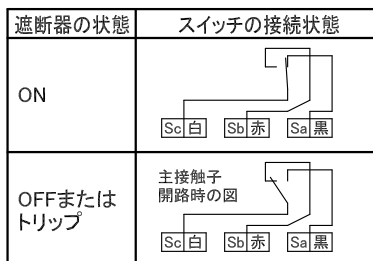
配線用遮断器は、トリップボタンを押し、トリップ状態にして接点出力状態を確認してください。

漏電遮断器は、電源側に定格電圧を印加し、テストボタンを押してトリップ状態にして接点出力状態を確認してください。

警報スイッチ(AL)



補助スイッチ(AX)



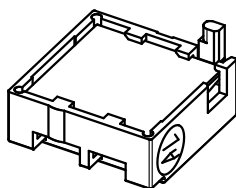
注1) カセット付属装置は、いったん使用後に取りはずしたものは再使用しないでください。使用環境、使用回数、保管管状況が不明なため、品質を保証できません。

注2) ご使用にならないリード線は、端末を絶縁テープを巻くなどして絶縁処理を行ってください。

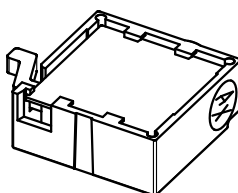
■内蔵スイッチの接点容量

- AC125V 3A
 - AC250V 2A, DC125V 0.4A
- (最小使用電圧、電流は48V、10mA)

警報スイッチユニット(AL)



補助スイッチユニット(AX)



商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がありましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

施工電気工事業者名

TEL ()
施工年月日 年 月 日

広島市南区大州3-1-42

テンパール工業株式会社

http://www.tempearl.co.jp/

技術問い合わせ窓口
TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534
受付時間 9:00~17:30
[月曜日~金曜日(祝・祭日、弊社休業日を除く)]



テンパール 配線用遮断器、漏電遮断器 カセット付属装置 取扱説明書(保存用)

適用型式:分電盤協約形サイズ(配線用遮断器、漏電遮断器の3Pタイプのみ。BU-**, GBU-**を除く)

M-33KC、B-33KC、M-53KC、B-53KC、B-63KC、B-103KC

GB-33MKC、GB-53KC、GB-63KC、GB-73KC、GB-103KC

はじめに

配線用遮断器、漏電遮断器用カセット付属装置をお買い上げいただきありがとうございます。本カセット付属装置は、配線用遮断器、漏電遮断器への付属機能としてご使用いただくものです。ご使用になる目的に応じて内部付属装置の機能を選択でき、かつ、お客様が取り付け可能なカセット方式の構造となっております。取付作業は本取扱説明書に基づいて行ってください。また、本カセット付属装置は標記の適用型式の遮断器にのみ対応していますので、適用型式をよくご確認ください。遮断器本体の取扱説明書もあわせてよくお読みください。

安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項を「注意」としてあります。

注意: 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、損傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

遮断器のカセット付属装置として次のものがあります。

カセット付属装置名称	機能
警報スイッチ(AL)	遮断器のトリップ状態を電氣的に表示するスイッチ
補助スイッチ(AX)	遮断器のON、OFF状態を電氣的に表示するスイッチ

1. 内容物の確認

ご使用の前に、カセット付属装置の型式と遮断器の適用型式がご要望のもの一致しているか、また、輸送中の不具合などにより、部品の脱落や破損がないか確認してください。

2. カセット付属装置の型式

カセット付属装置の型式は以下のような表示方法としています。

AL10KC: AL リード線引出し仕様

AX10KC: AX リード線引出し仕様

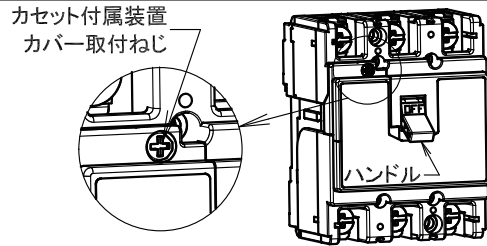
(AL+AXはAL10KCとAX10KCそれぞれをご用意ください。)

3. カセット付属装置の取付方法

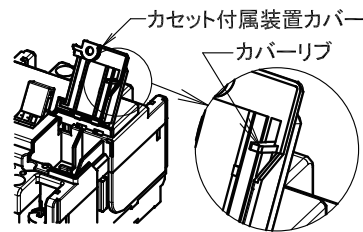
⚠️ 注意

- カセット付属装置の取り付けは、遮断器およびカセット付属装置が無電圧になっていることを確認して行ってください。活線状態での取り付けは、万一充電部に触れた場合に感電しますので行わないでください。
- カセット付属装置を無理に押し込まないでください。故障の原因となります。
- カセット付属装置の分解改造は行わないでください。
- カセット付属装置カバー取付ねじは適正締付けトルクで締付けてください。適正締付けトルク以上の締付けは、破損のおそれがあります。(適正締付けトルク:0.8N・m)
- 本体に締付けているカセット付属装置カバー取付ねじおよび付属している予備の取付ねじ以外は使用しないでください。
- カセット付属装置カバー取付ねじの取り付け回数は、3回以下としてください。ねじ締め部が破損するおそれがあります。

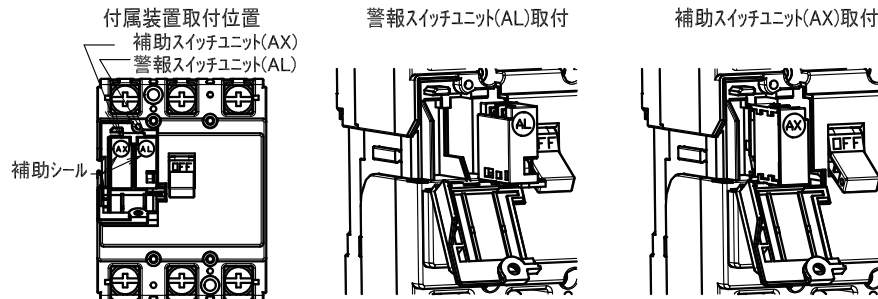
- 1) 遮断器(ハンドル)をOFF状態にし、カセット付属装置カバー取付ねじ(黒色)を緩めてください。



- 2) カセット付属装置カバーを開け、カセット付属装置カバーの裏側にあるカバーリブをニッパ等を使用し、根元から取り除いてください。この時、切り取られたカバーリブが本体内部に入らないよう注意してください。
注)カセット付属装置カバーは、主銘板と一体になっていますので引きはがしたり、切り取らないでください。



- 3) カセット付属装置に貼り付けてある補助シールが上面になるようにして、付属装置を取付位置に正しく組込んでください。



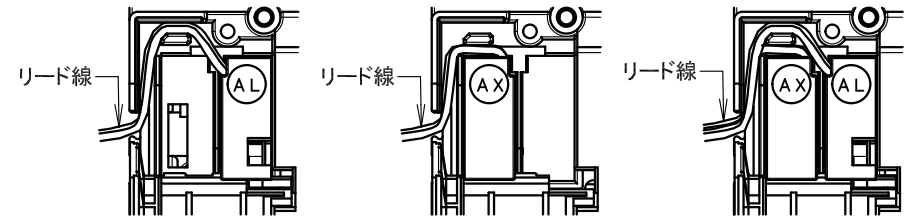
注) 警報スイッチユニット(AL)は右側へ、補助スイッチユニット(AX)は左側へ組込んでください。

- 4) カセット付属装置のリード線を下図のとおり正しく配線してください。

警報スイッチ(AL)仕様

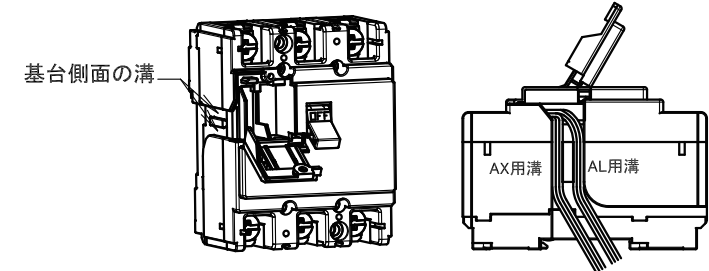
補助スイッチ(AX)仕様

警報+補助スイッチ(AL+AX)仕様

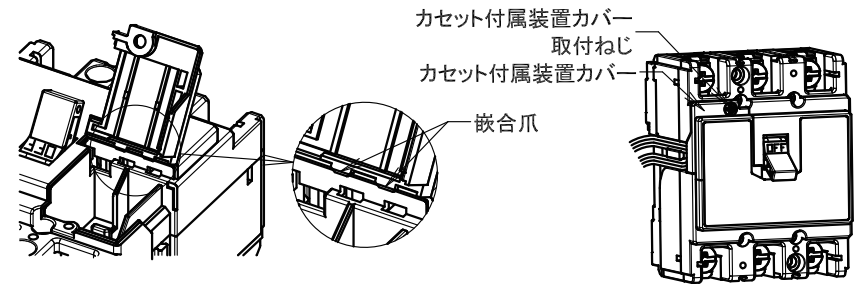


注) 補助スイッチ組込み後、警報スイッチを組込む

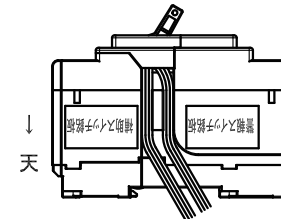
- 5) 基台側面の溝にリード線を右図のとおりはめ込んで、配線を整えてください。



- 6) 嵌合爪をカバーに嵌合させた状態でカセット付属装置カバーを閉めて、カセット付属装置カバー取付ねじを締めてください(適正締付けトルク:0.8N・m)。その際にリード線を挟まないように注意してください。



- 7) 同梱の付属銘板を下図のように遮断器の側面に貼り付けてください。(付属銘板は遮断器の底側を天にして貼り付けてください)



- 8) リード線にマークチューブ(リード線の番号を捺印したチューブ)があることを確認してください。もし、外れているものがあれば取り付けてください。また、カセット付属装置カバーを締めた後で取り外さないようにしてください。